

名寄南小学校 校内研修⑨

## 第2期の重点 具体的な方向性

～第1期の成果と課題を踏まえて～

令和元年7月29日(月) 研究担当 菊池 勇希  
11:15-12:00 3年2組教室

今日の研修のゴール 1

**ゴール**  
第2期の方向性・重点を、  
授業レベルで  
具体的にイメージできる。

お話をさせていただくこと

- ① なんのための研修？
- ② 研究主題の確認
- ③ 目指す子どもの姿 Ver.2
- ④ 第2期の重点
- ⑤ 今後の予定

お話をさせていただくこと

- ① なんのための研修？
- ② 研究主題の確認
- ③ 目指す子どもの姿 Ver.2
- ④ 第2期の重点
- ⑤ 今後の予定

最近読んだ本から 1

「年に1回の研究授業を通して自分の授業改善のヒントを得て、年に1000時間の普通の授業をいかに変化するか。」

南小の研修コンセプト 2

「楽しく」「ためになる」研修を通して、  
年1000時間の  
日常授業をより良くする

もっと授業の話ができる職員室  
気軽に授業を見合ってレベルアップ

**お話させていただくこと**

- ① なんのための研修？
- ② 研究主題の確認**
- ③ 目指す子どもの姿 Ver.2
- ④ 第2期の重点
- ⑤ 今後の予定

**研究主題の確認** 3

覚えていますか？書いてみましょう！

子どもの育成

**研究主題について** 4

**進んで学び、協力して**  
**課題を解決する**子どもの育成

**進んで学び**  
⇒課題意識や必要感をもち、主体的に学習に関わる姿

**協力して課題を解決する**  
⇒自分の考えをもち、伝え合う姿  
⇒考えを広げ深めて、個人や全体の課題を解決する姿

**お話させていただくこと**

- ① なんのための研修？
- ② 研究主題の確認
- ③ 目指す子どもの姿 Ver.2**
- ④ 第2期の重点
- ⑤ 今後の予定

**目指す3つの子ども像** 5

課題意識や必要感をもち進んで学ぶ子

自分の思いや考えを伝え合い、学び合う子

**研究主題の達成**

自らの成長や他者と学ぶ価値を自覚する子

**目指す子ども像①** 6

**課題意識や必要感をもち進んで学ぶ子**

ギャップの自覚 (課題意識)

やってみたい！  
できるようになりたい！  
(必要感)

スタートの姿

ゴールの姿

明確な  
ゴールイメージ

目指す子ども像② 7

自分の思いや考えを  
伝え合い、学び合う子

考えの広がり      学び合い      考えの深まり      考えの形成

目指す子ども像③ 8

自らの成長や  
他者と学ぶ価値を自覚する子

学習前の姿

成長の自覚 (何ができた? わかった?)  
他者と学ぶ価値 (どうしたらできた?)

ゴールの姿

振り返り      振り返り      振り返り      単元の振り返り

第1時      第3時      第6時      単元のまとめ

- お話させていただくこと
- ① なんのための研修?
  - ② 研究主題の確認
  - ③ 目指す子どもの姿 Ver.2
  - ④ 第2期の重点
  - ⑤ 今後の予定

研究仮説・内容① 9

目指す子ども像①  
課題意識や必要感をもって進んで学ぶ子

研究仮説①  
単元または1時間の目指す姿の明確化によって、  
子どもが進んで課題解決に取り組むことができるだろう。

研究方法①  
「目指す姿」の具体化・提示

研究内容①について 10

ギャップの自覚 (課題意識)

スタートの姿

やってみよう!  
できるようになりたい!  
(必要感)

ゴールの姿

明確な  
ゴールイメージ

①「問い」や「思考のズレ」を引き出す導入の工夫  
「ん？」と思える問題提示・Small Talk

研究仮説・内容② 11

目指す子ども像②  
自分の思いや考えを伝え合い、学び合う子

研究仮説②  
考えの形成や対話を促す教師の働きかけによって、子ども  
が思いや考えを伝え合い、学び合う力を高められるだろう。

研究方法②  
自分の考えをもたせる工夫  
話し合いを促すための工夫

### 研究内容②について 12

② 学習内容や「見方・考え方」とのつながりの明確化  
**NEW** 努力を要する子への手立ての充実

### 学習内容と「見方・考え方」 13

#### 算数における「つながり」のイメージ

あまりのある 小数÷小数 (学習内容)

- 既習の内容 (0.1いくつ分, 0.01いくつ分)
- 数、量、図形、その関係に着目
- 根拠を基に筋道立てて考える
- 統合的に考える
- 発展的に考える (数学的な見方・考え方)

### 学習内容と「見方・考え方」 14

#### 外国語における「つながり」のイメージ

すきなものをつたえよう (言語活動)

- 単元の学習内容 (I (don't) like~, Do you like~, 飲食物, スポーツ)
- 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方 (相手, 目的、場面、状況など)
- 既習の内容 (挨拶の表現 Helloなど, 自己紹介の表現 My name is~, 状態・気持ちの表現 I'm happyなど)

### 言語活動クイズ！ 15

#### 外国語における「言語活動」はどれ？

<b>キーワードゲーム</b> 教師がキーワードを言ったら消しゴムをとる	<b>おすすめの国紹介</b> みんなにおすすめの国をポスターを見せながら紹介する。
<b>インタビューゲーム</b> 友達の好きなものを予想した後、好きかどうかを聞き合う。	<b>カルタゲーム</b> 教師の言った単語のカードを取り合う
<b>単語のリピート練習</b> フラッシュカードを使った反復練習	<b>お店屋さんごっこ</b> 自分のつくりたい料理のために必要な材料を集める。

### 言語活動クイズ！（答え） 16

#### お互いの考えや気持ちを伝え合う活動

<b>キーワードゲーム</b> 教師がキーワードを言ったら消しゴムをとる	<b>おすすめの国紹介</b> みんなにおすすめの国をポスターを見せながら紹介する。
<b>インタビューゲーム</b> 友達の好きなものを予想した後、好きかどうかを聞き合う。	<b>カルタゲーム</b> 教師の言った単語のカードを取り合う
<b>単語のリピート練習</b> フラッシュカードを使った反復練習	<b>お店屋さんごっこ</b> 自分のつくりたい料理のために必要な材料を集める。

言語材料について理解したり練習したりするための活動

### よりよい言語活動のために 17

#### 相手、目的、場面、状況等の設定で本物のコミュニケーションに！

すきなものをつたえよう (言語活動)

- 相手のみんな (相手)
- 目的 好きなものを知る (目的)
- 場面・状況 ペアでの自己紹介 (場面・状況)

研究内容②について 18

③学び合う子どもの姿の明確化  
 子どもの思考をつなぐ教師の「問い返し」  
 NEW 話し合いで子どもに使わせたい「つなぎ言葉」

伝え合う・学び合う 19

算数における「話し合い」の流れ（例）

考えの形成 → 考えの広がり → 考えの深まり

友達の考えを解釈する  
 友達の考えをつなげる

問い返し

みんなで解決する授業 20

「解釈」や「つなぎ」を促す問い返し

復唱・補足・言い換え・  
 気付き・揺さぶりで  
 考えの理解や集団解決を促す  
 教師が必要以上に話さない！

みんなで解決する授業 21

復唱

「〇〇さんの考えを  
 もう一度説明できる？」

みんなで解決する授業 22

補足

「〇〇さんの考えを  
 もっと詳しく説明できる？」  
 「〇〇さんの考えの  
 続きを言える？」

みんなで解決する授業 23

言い換え

「〇〇さんの考えを  
 別の言い方で言える？」  
 「〇〇ってどういうこと？」

## みんなで解決する授業 24

## 気付き

「〇〇さんは、どうして  
こう考えたと思う？」  
「なぜ、〇〇になったのかな？」

## みんなで解決する授業 25

## 揺さぶり

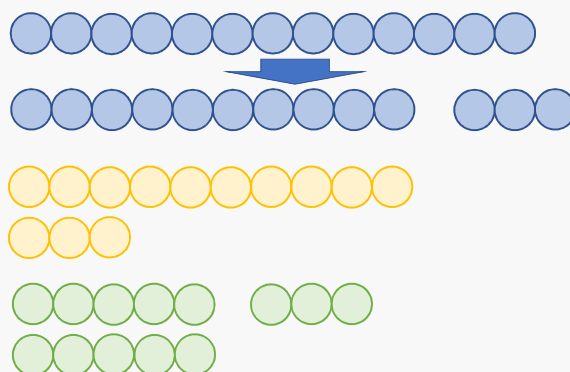
「〇〇さんの考えは、  
本当に正しいの？」  
「〇〇さんの考えは、  
どこが間違っているの？」

## みんなで解決する授業 26

## 考えをつなげる（収束）

「共通点は何かな？」  
「どんなきまりがあるかな？」  
「つまりどういうことかな？」  
「いつでもいえることかな？」

## 「問い返し」ってこんな感じ 27



## 「問い返し」ってこんな感じ 28

- ・考えを広げる（並べる→分ける）
  - 「どうしてこう考えたと思う？」（気づき）
  - 「もっと詳しく説明できる？」（補足）
  - 「もう一回言ってみて？」（復唱）
- ・考えを深める（統合的→発展的）
  - 「どっちの置き方がいい？」（判断）
  - 「青のやり方はだめなの？」（揺さぶり）
  - 「どうやったら青も黄みたいになる？」（言い換え）
  - 「2つの置き方の共通点は？」（収束）
  - 「緑のおきかたはどう？」（揺さぶり）

## みんなで解決する授業 29

## 話し合いで使わせたい「つなぎ言葉」①

- ・順序よく考えるための言葉
  - 「はじめに」「次に」など
- ・根拠を明らかにする言葉
  - 「だから」「つまり」など

### みんなで解決する授業 30

話し合いで使わせたい「つなぎ言葉」②

- ・より具体的に考える言葉  
→「例えば」「もし～なら」など
- ・考えをより広げ・深める言葉  
→「だったら」「でも」「やっぱり」など

### 研究仮説・内容③ 31

**目指す子ども像③**  
自らの成長や他者と学ぶ価値を自覚する子

**研究仮説③**  
自己評価や学習履歴などの振り返りを通して、子どもが自らの成長や他者と学ぶ価値を自覚できるだろう。

**研究方法③**  
振り返りシート（OPPA）の活用

### 目指す子ども像③ 32

学習前の姿

成長の自覚（何ができた？わかった？）  
他者と学ぶ価値（どうしたらできた？）

ゴールの姿

振り返り 振り返り 振り返り 単元の振り返り

第1時 第3時 第6時 単元のまとめ

④主体的な学びにつながる振り返りの充実

NEW 振り返りの目的の明確化  
NEW 段階的な振り返り指導

### 学習評価に関わって 33

中央教育審議会「児童生徒の学習評価の在り方について」  
（報告）（2019. 1）より

各教科における評価の基本構造

学習指導要領に示す目標や内容  
知識及び技能  
思考力、判断力、表現力等  
学びに向かう力、人間性等

観点別学習状況評価の各観点  
知識・技能  
思考・判断・表現  
感情、思いやりなど

主観的に学習に取り組む態度

評定  
個人内評価

・観点別学習状況の評価の結果を記録するもの。  
・5段階で評価（小学数は3段階、小学校低学年は行わない）。

・観点別学習状況の記録や評定は、必ずしも児童生徒一人一人の思いや可能性、進捗状況について評価するもの。

### 主体的に学習に取り組む態度 34

主体的に学習に取り組む態度

粘り強い取組を行おうとする側面  
自らの学習を調整しようとしている側面

＜評価の工夫（例）＞  
○ノート、レポートなどにおける記述  
○授業中の発言  
○教師による行動観察  
○児童生徒による自己評価や相互評価などの状況を教師が評価を行う際に考慮する材料の一つとして用いる。

③粘り強い取組を行おうとする側面

### 主体的…の評価イメージ 35

現時点での見解（違っていたらごめんなさい）

学習前の姿

粘り強さ○、調整力○  
はじめの考え  
学び合い  
学び合い

ゴールの姿

はじめの考え  
教師の指導

振り返りを用いて  
評価の参考資料とする



## なんのために振り返るのか？ 36

### 振り返りの目的（南小版）

- ① 学習内容のまとめ
- ② 学び方のメタ認知
- ③ 子どもへのフィードバック

※これらの目的を踏まえて振り返りの場面を設定する。  
※必ずしも毎時間行わなくても良い。

## なんのために振り返るのか？ 37

### 段階的な振り返り指導

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
(自分視点)					
		「できたこと」「わかったこと」			
				「どうしたらできたか」	
			「友達からの学んだこと」 (客観視)		

※1年生: 挙手  
2年生: 口頭発表  
3年生: 記述

## 第2期の重点のまとめ 38

①「問い」や「思考のズレ」を引き出す導入の工夫  
→ 「ん？」と思える問題提示・Small Talk

② 学習内容や「見方・考え方」とのつながりの明確化  
→ 努力を要する子への手立ての充実

③ 学び合う子どもの姿の明確化  
→ 子どもの思考をつなぐ教師の「問い返し」  
→ 話し合いで子どもに使わせたい「つなぎ言葉」

④ 主体的な学びにつながる振り返りの充実  
→ 振り返りの目的の明確化  
→ 段階的な振り返り指導

## お話させていただくこと

① なんのための研修？

② 研究主題の確認

③ 目指す子どもの姿 Ver.2

④ 第2期の重点

⑤ 今後の予定

## 今日の研修のゴール 39

**ゴール**  
第2期の方向性・重点を、  
授業レベルで  
具体的にイメージできる。

名寄南小学校 校内研修⑨

**第2期の重点**  
**具体的な方向性**  
～第1期の成果と課題を踏まえて～

令和元年7月29日（月）  
11:15-12:00 3年2組教室

研究担当  
菊池 勇希